

2016年2月22日

包装タイムス

会 サンプライ

20周年総会を都内で開催

サンプライ事業を支えた5社を表彰

住化プラスチック(東京都中央区)の販売加工代理店会「サンプライ会」の20周年記

念総会が2月4日、東京・日本橋茅場町の東京証券会館で行われた。同会にはPPP中空構

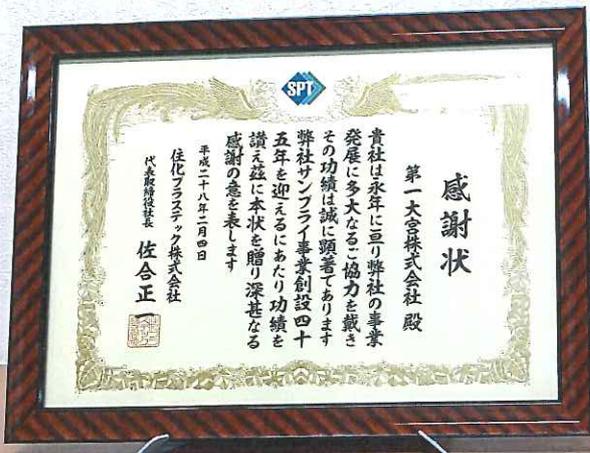
造シート「サンプライ」、9ミリの厚み品「スミパネル」、低発泡シート「スミセラ」等を加工・販売する企業



あいさつを述べる佐合社長(住化プラスチック)

を対象に、全国各地から約1000人が参集。同社の2016年度経

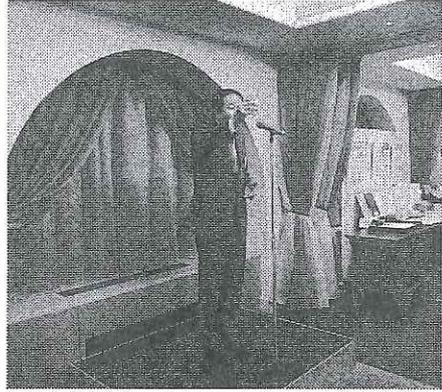
営方針を佐合正一代表取締役社長が述べ、サンプライ事業の永年功労表彰式も執り行われた。併せて懇親会も開かれ、切磋琢磨する企業が来し方を振り返り、その健闘を互いにたたえあった。
佐合社長は16年度の経営方針について「事業体質の変革と収益力の強化」「高付加価値製品」の市場の創生と「流通経費」と「製造コスト」の徹底した合理化」という大要3点を掲げた。
続いて、住化プラスチック創立20周年の節目としてサンプライ事業永年功労表彰式が執り行われた。サンプライ事業の発展を支えた功労企業である、トモエ、鈴木紙器、第一大宮、国盛化学、三栄紙工の5社をそれぞれ表彰し、長年の功労に報いた。(3面につづく)



あいさつを述べる第一大宮・松岡社長



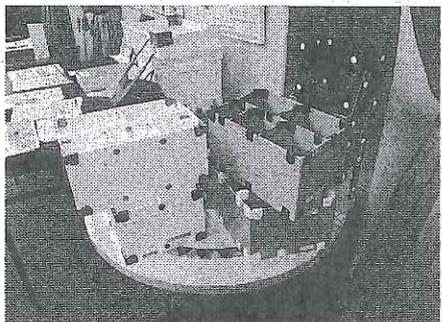
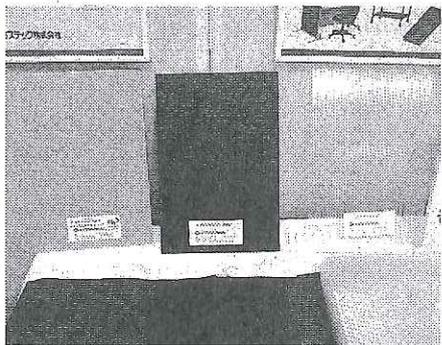
乾杯の音頭をとる鈴木紙器・磯貝社長



中締めのあいさつを述べたトモエ・荻野社長



会場で展示された新製品



サプライ会

「TOPPER」を目指す

「永年功労企業」中心に意気軒昂

(1面のつづき)

サプライ会で佐合社長は「住友の事業精神の第一条に『信用を重んじ、確実を旨とし、もってその鞏固隆盛(きょうこりゅうせい)を期すべし』であるが、われわれもこの精神を順守してまいりたい。経営理念にもある『技

術を基盤とした新しい価値の創造に常に挑戦』ということが柱である。使命感、誇り、尊重、チームワーク、創造性という価値観をベースに2016年度はさらに『新しい価値を創造しTOPPERの製品を社会に提供できるもの創りの会社を自

指すこと』をモットーに掲げた。これは15年度のモットーをさらに進化させて取り組む意義を含めたもので、技術はもちろん品質、コスト競争力においてもNo.1を目指すというものだ。さらに高付加価値製品の市場の創生と

コストの徹底した合理化を進めたい」と述べた。続いて永年功労表彰では、トモエ、鈴木紙器、第一大宮、国盛化学、三栄紙工の5社が表彰され、第一大宮・代表取締役社長の松岡貴峰氏が代表あいさつとして「身の引き締ま

る思いだ。本当にありがたく、本当に嬉しい。振り返ると住化プラステック様のプラ段シートを加工・販売したのは三十数年前にまでさかのぼる。今のように設備環境が整っていない時代で試行錯誤したこと懐かしい。加工機械の開発から着手し、今では約30機種をそろえるに至った。差別化を図るためにさまざまな要望をさせていただいたが、しっかりと応えていただき、住化プラステック様は押し

も押されぬ業界No.1の企業になられた。ともあれ、これからは箱屋同士も協力していく時代になった。サプライ会の皆さまと一緒に協力し合って高めあってまいりたい」と述べた。

続いて、ホテルオークラレストラン日本橋に場所を移して行われた懇親会では鈴木紙器・代表取締役社長の磯貝伸二氏が乾杯の音頭を執り行い、歓談の輪

が広がった。活発な情報交換が行われた後、中締めのあいさつではトモエ・代表取締役の荻野滋一氏が「先代の社長が亡くなって15年経つが、その父が健在であればこの表彰を大変に喜んだと思う」と述べた後、さらなる事業拡大への決意を披露した。

なお懇親会会場で、住化プラステックの新製品群とともに、国盛化学の新製品「ピンクリップ」と「コーナークリップ」をスミセラに組み付けたサンプルも展示された。